

令和5年度動物愛護管理推進計画の達成状況について

1 概要

令和5年度は、動物ふれあい教室、動物愛護フェスティバル及び動物同行避難訓練を実施したほか、致死処分頭数の削減を目指し、ボランティア等との協働により譲渡事業及び不妊去勢手術を推進しました。

また、今年度は、動物管理センターに求められる役割や機能などについて検討しました。

2 実施結果

(1) 動物愛護の普及啓発・多様な主体との相互理解の醸成

○とやま動物愛護ホームページによる情報発信

適正飼育の普及啓発、活動報告等を行いました。

○県公式 SNS による情報発信

令和5年9月から動物管理センターの Instagram アカウントを開設し、譲渡情報やイベント情報を発信しました。

○狂犬病予防接種啓発

ホームページに我が家のアイドル犬等を掲示し狂犬病予防注射の実施や登録について啓発しました。



○動物慰霊祭

実施日時	実施場所	参加者
9月22日（金） 11：00～11：30	動物管理センター	生活衛生課、動物管理センター、 各厚生センター、富山市保健所、 富山県獣医師会等

○動物ふれあい教室の開催

動物とふれあうことを通じて、動物の接し方や命の大切さを学び、より広く愛護思想の普及啓発を図るため、夏休み親子動物ふれあい教室及び学校への出張形式でのふれあい教室を実施しています。

実施日時	実施場所	参加者	実施内容
7月11日（火） 13：00～14：30	射水市立放生津小学校	2年生 (24名)	<講師> 動物管理センター 県獣医師会（動物病院獣医師） ふれあい犬ボランティア <内容> ① 動物の接し方について ② 動物の心音を聴いてみよう ③ 手洗い講座 ④ 動物管理センター事業紹介
7月31日（月） 13：30～15：30	動物管理センター	小学生と 保護者 (2組4名)	
11月15日（水） 13：30～15：15	射水市立新湊小学校	3年生 4年生 (計76名)	

○動物愛護フェスティバル

①実施日時、場所

9月24日（日）10：00～14：00（動物管理センター）

②協力者 約50名

富山市保健所、公益社団法人富山県獣医師会、富山県愛玩動物協会、NPO 法人ピース・アニマルズ・ホーム、TPG 富山国際ペットビジネス学院、富山県警察嘱託警察犬指導者、動物愛護推進員

③実施内容

実施内容	
(1) ねこのふれあい 動物管理センターで保護されたねことふれあいを行う。	<参加者数> 10組
(2) 長寿犬の表彰 市町村から推薦のあった犬の中から、平成18年4月以前生まれの犬及びその飼い主を県獣医師会長より表彰	<表彰数> 8組 <参加者数> 4組
(3) 缶バッジ作成コーナー	<参加者数> 約50組
(4) 1日獣医師体験 小学生が獣医師になりきり、犬の診察などを体験（(公社)富山県獣医師会企画）	<参加者数> 12組
(5) 我が家のアイドル犬コンテスト 事前に募集した飼い犬の写真の人気投票	<参加者数> 20名
(6) ペットの健康なんでも相談コーナー 獣医師が無料でペットの相談を受ける （(公社)富山県獣医師会企画）	
(7) 犬のお手入れ体験 耳掃除やトリミング等お手入れの体験 （TPG富山国際ペットビジネス学園企画）	
(8) 犬とのふれあい、動物の絵本コーナー、ライブコンサート （NPO法人ピース・アニマルズ・ホーム企画）	
(9) ペットの災害体験、ペットのクイズコーナー （富山県愛玩動物協会企画）	
(10) 富山県警察嘱託警察犬デモンストレーション （富山県警察嘱託警察犬協力）	
(11) 展示 <ul style="list-style-type: none">・ミルクボランティア活動紹介・ペットの防災対策・マイクロチップの普及啓発・動物愛護に係る展示（NPO法人ピース・アニマルズ・ホーム企画）	

【参考】 推進計画中の関連項目

- (2) 適正飼養の推進による動物の健康と安全の確保並びに返還・譲渡の推進
- (3) 周辺的生活環境の保全と動物による危害の防止
- (4) 所有明示（個体識別）措置の推進
- (5) 動物取扱業の適正化
- (7) 体制整備・人材育成

(2) 適正飼養の推進による動物の健康と安全の確保並びに返還・譲渡の推進

○不妊・去勢手術の推進

所有者のいない猫の不妊去勢手術や譲渡活動に取り組む各地域の動物愛護推進員や自治会等に対し、不妊去勢手術に係る費用の補助を行い、その活動を支援することで、引取り頭数の削減及び地域住民からの猫に関する苦情の改善を図ることを目的に「富山県所有者のいない猫の不妊去勢手術推進事業」を実施しました。

令和5年度 実績	
実施頭数	69 頭

○適正飼養の啓発及び飼養相談、苦情の受付

県内厚生センター及び支所等において、随時飼養相談や苦情を受け付け対応しました。

○犬猫譲渡事業

① わんわんパートナー（成犬譲渡）事業の実施

動物管理センターに保護・収容された成犬にできるだけ生存の機会を与えることを目的とし、わんわんパートナー（成犬譲渡）事業を行っており、令和5年度は犬7頭が譲渡成立しました。

② 収容猫譲渡事業の実施

動物管理センターに保護・収容された猫にできるだけ生存の機会を与えることを目的とし、譲渡を随時実施しました。令和5年度は猫102頭が譲渡成立しました。

○動物愛護ボランティアとの協働

愛護事業や譲渡事業の一層の推進を図るため、ボランティアと協働した事業を実施しました。

	登録者	活動内容
子猫ミルクボランティア	12名	離乳前の子猫を一時的に預かり、離乳するまで育てる。令和5年度は、猫56頭の預かりを依頼した。
動物ふれあい教室ボランティア	1団体	動物ふれあい教室に参加し、参加者に対し、動物の適切なふれあい方を教示する。
譲渡仲介ボランティア	7名 3団体	動物管理センターにおいて飼い主が見つからない犬猫を譲り受け、新たな飼い主探しを行う。令和5年度は犬1頭、猫10頭を譲渡した。

【参考】 推進計画中の関連項目

- (1) 動物愛護の普及啓発・多様な主体との相互理解の醸成
- (3) 周辺の生活環境の保全と動物による危害の防止
- (7) 体制整備・人材育成

(3) 周辺の生活環境の保全と動物による危害の防止

○愛犬のしつけ方教室

実施日時	実施場所	参加者	実施内容
希望に応じて実施	動物管理センター	38組	<対 象> ・ 飼い主 ・ 登録、狂犬病予防ワクチンを受けた犬 <内 容> ・ 犬の飼養相談や訓練実技講習など 飼い主に応じた指導 ・ 進捗状況に応じて複数日実施

【参考】 推進計画中の関連項目

- (1) 動物愛護の普及啓発・多様な主体との相互理解の醸成
- (2) 適正飼養の推進による動物の健康と安全の確保並びに返還・譲渡の推進
- (4) 所有明示（個体識別）措置の推進
- (7) 体制整備・人材育成

(4) 所有明示（個体識別）措置の推進

○所有者明示措置の普及向上

狂犬病予防注射集合接種会場や動物愛護事業においてマイクロチップの重要性について飼い主への普及啓発を行いました。

【参考】 推進計画中の関連項目

- (1) 動物愛護の普及啓発・多様な主体との相互理解の醸成
- (3) 周辺の生活環境の保全と動物による危害の防止

(5) 動物取扱業の適正化

○動物取扱業の監視指導状況

県内厚生センター・支所及び富山市保健所において、動物取扱業の監視指導を行い、第一種動物取扱業及び第二種動物取扱業の飼養施設の状況、管理方法について確認、指導しました。

第一種動物取扱業の監視指導状況(富山市含む)

監視 総数	登録種別							業種別 内訳計	登録数
	販売	保管	貸出	訓練	展示	譲受 飼養	競り あっせん		
172	99	122	7	18	18	2	0	266	288

第二種動物取扱業の監視指導状況(富山市含む)

監視 総数	届出種別					業種別 内訳計	届出数
	譲渡	保管	貸出	訓練	展示		
5	2	4	0	0	3	9	13

○動物取扱責任者研修の実施

動物の愛護及び管理に関する法律第 22 条第 3 項に規定する動物取扱責任者研修をオンライン形式と集合形式で開催しました。

実施日時	実施場所	修了者数	研修項目
【オンライン形式】 10月30日(月) ～12月22日(金)	YouTubeによる配信	187名	<ul style="list-style-type: none"> ・県の動物愛護行政について ・動物取扱業における災害時等の危機管理対策について
【集合形式】 10月18日(木) 14:00～16:00	富山県総合情報センター	75名	
計		262名	

【参考】推進計画中の関連項目

- (1) 動物愛護の普及啓発・多様な主体との相互理解の醸成
- (3) 周辺的生活環境の保全と動物による危害の防止
- (6) 災害対策
- (7) 体制整備・人材育成

(6) 災害対策

○ペットの災害対策

富山県と市町村が協力して実施している「富山県総合防災訓練」において、(公社)富山県獣医師会やNPO法人ピース・アニマルズ・ホーム、動物愛護推進員等の協力のもと、動物同行避難訓練を実施しました。

実施日時	実施場所	参加者	実施内容
8月27日(日)	高岡テクノドーム	約6名(同行避難参加者3組)	①災害時の避難方法、避難所でのペットの受付・管理 ②ペットのトリアージ訓練 ③災害時に必要なしつけ方講習会

○ペットの災害対策研修会

NPO法人アナイス理事長 平井潤子氏をお招きし、東日本大震災や能登半島地震等での実際の災害対応の経験をもとに、ペットの災害対策の現状と課題や平時の備えについて学びました。

実施日時	実施場所	参加者	実施内容
2月15日(木) 14:00~17:00	富山産業展示館	40名	○講師 NPO法人アナイス理事長 平井潤子氏 <講演> 「ペットの災害対策の現在と課題について」 <演習> 「避難所運営ゲーム(HUG)」

【参考】推進計画中の関連項目

- (1)動物愛護の普及啓発・多様な主体との相互理解の醸成
(7)体制整備・人材育成

(7) 体制整備・人材育成

○富山県動物管理センターのあり方の検討

令和4年度官民協働事業レビューにおいて当センターに係る事業の「拡充」が必要との評価結果を踏まえ、県民にとって身近で親しみやすく、また、人と動物との共生を推進する拠点施設となるために、必要な役割や機能等を整理するとともに、円滑に業務を行う体制と行政機関の果たすべき役割について検討しました。や動物愛護に関する県民意識調査等を検討しました。

なお、検討内容についてとりまとめた報告書は、ホームページで公表しております。



富山県動物管理センターのあり方検討に関する報告書

令和4年2月
富山県庁

①富山県動物管理センターあり方検討会の開催

委員11名からなる「富山県動物管理センターあり方検討会」を設置し、以下について検討しました。

検討会	実施日時	実施内容
第1回富山県動物管理センターあり方検討会	令和5年7月14日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・本県の動物愛護管理行政について ・本県の動物愛護管理の現状と課題 ・先進地視察の報告 ・動物管理センターに求められる役割・機能

第2回富山県動物管理センターあり方検討会	令和5年9月29日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・動物管理センターに求められる役割・機能(案) ・厚生センター業務の集約について ・県民意識調査の結果について(速報値) ・報告書の骨子(案) ・情報発信、SNSの活用について
第3回富山県動物管理センターあり方検討会	令和5年11月20日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・富山県動物管理センターのあり方に関する報告書(案)について

②動物愛護に関する県民意識調査

実施期間	概要
令和5年8月30日(水) ～令和5年9月18日(月)	<p><対象> 18歳以上の県民2,000名(市町村の人口比を考慮した上で無作為抽出)</p> <p><調査方法> 設問冊子を郵送し、QRコード等で回答フォームへ誘導して回答</p> <p><設問数> 最大18問</p>

○動物愛護推進員の活動

本県の動物愛護業務について理解を深め、意見交換等により推進員の交流を図ることで、今後の推進員活動を一層充実させることを目的に、令和5年度は第11期推進員委嘱状交付式を開催しました。

また、動物愛護通信を配信し、動物愛護推進員に動物愛護事業の活動報告を行いました。

実施日時	実施場所	参加者	実施内容
4月22日(日) 14:00～16:00	県民会館301号室	16名	<ul style="list-style-type: none"> ・動物愛護推進員の活動について ・県の施策について

【参考】推進計画中の関連項目

- (1)動物愛護の普及啓発・多様な主体との相互理解の醸成
- (2)適正飼養の推進による動物の健康と安全の確保並びに返還・譲渡の推進
- (3)周辺的生活環境の保全と動物による危害の防止
- (4)所有明示(個体識別)措置の推進
- (5)動物取扱業の適正化
- (6)災害対策

3 推進計画の目標について

犬・猫の致死処分頭数

動物愛護管理推進計画では、令和3年3月に新たな目標を設定し、犬及び猫の致死処分頭数50%減（平成30年度比較）という目標を掲げています。

動物種	年度	致死処分頭数*
犬	H30 (計画策定時)	16頭
	R5	4頭
	R12 (目標値)	8頭以下
猫	H30 (計画策定時)	229頭
	R5	29頭
	R12 (目標値)	115頭以下

※致死処分頭数には、保管中の病気等による自然死も含まれる。